

大きい数づくりゲーム

単 元	大きい数	対象学年	1 年
ね ら い	100 までの数の大きさ比べをし、どちらが大きいか説明することができる。		

1 準備するもの

教師：0～9までの数字カード（1人1セット・マグネット付）
十の位と一の位を色分けしたホワイトボード



【数字カードとホワイトボード】

2 学習のしかた

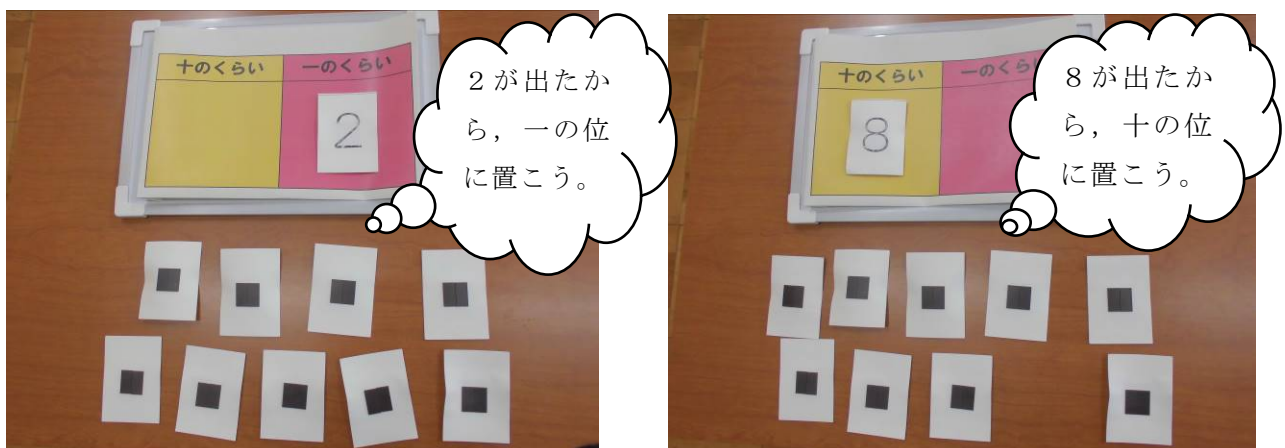
(1) ゲームの説明をする。

〈ゲームのルール〉

- ① 2人組のペアを作る。1人ずつに0～9のカードを渡す。
- ②じゃんけんで勝った人から、カードを1枚引き、十の位に置くか一の位に置くか考えて置く。
- ③負けた人が引き、同じようにどちらかに置く。
- ④もう1枚ずつ同じ順番で引き、残っている位に置く。
- ⑤大きな数をつくることができた人が勝ち。

(2) 1人1セットの数字カードを配り、裏向きにして机の上に置く。

(3) ゲームのルールにしたがって、じゃんけんをして大きい数をつくれるように考える。



【ゲームの様子】

- (4) 3回行い，ノートに結果を記録する。
- (5) 大きな数をつくるためには，どうしたらよいかを話し合う。
(または，1つのペアのゲームの様子を見て，気付いたことを話し合ったり，なぜその位にカードを置いたかを尋ねたりする)

3 学習上の留意点

- ・ゲームを行う前に，十の位と一の位の意識づけをするために，おはじきなどを数えて，十の位と一の位に分けて書かせる。
- ・(5) ときに，ゲームをしている2人には，1枚目のカードを引いたときに，どうしてその位に置いたのかを尋ねる。見ている子どもたちには，〇〇さんが勝ったのはどうしてだろうと問いかけることで，大きい数を引いたら十の位，小さい数を引いたら一の位に置くとよいことに気付かせる。
- ・本時の振り返りをするときに，0～9のカードを1枚ずつ使って，100までで一番大きな数を作ったり，2組のカードを使ったりするとどうなるか考える。

4 学習の効果

- ・数の構成に目を向け，十の位と一の位を意識して，十の位が大きいと数が大きくなることや十の位が同じ数字のときは，一の位で比べると分かることに気付くことができる。
- ・友達のゲームの様子を見て，自分がどう考えているかを言葉にすることで，説明する力がつく。